



伊奈高校の教室で行われた座談会の様子。リラックスした雰囲気です座談会が進む中、夢を語るときの生徒たちの顔は真剣で、熱意にあふれていた。

描く将来。なりたい自分。

18歳が描く、将来の目標

市長 次が最後の質問になります。皆さんは今、高校3年生です。これから、将来について、いろいろな夢を思い描いていると思います。その将来の夢や目標をぜひ、お聞かせください。

中山 自分は社会科の教員を目指しています。大学に入ってからは教員になるための勉強や、自分の興味のある時代の研究ですとか、そういったものを積極的に頑張って知識をつけて将来立派な教員として教壇に立ちたいと思っています。

篠塚 僕は将来、つくばみらい市の職員になりたいと思っています。大学で公共政策を専攻するつもりです。地方政策などを学び、まず知識を身につけてから、市の職員として働けるよう勉強したいと考えています。

金久保 私は将来、患者さんだけでなく、その家族の支えになれるような看護師になりたいと思っています。そのために、看護師免許だけでなく保健師免許や助産師の免許も取って、いろいろな方面から、患者さんやその家族に指導やアドバイスができるような看護師を目指しています。

松山 私は臨床心理士という、心理に関わる職に就きたいと

思っています。私は子どもの心理に興味があって、それを研究したいのと、子どもと接したいというのがあって、将来はスクールカウンセラーになりたいと思っています。

市長 皆さんそれぞれに素晴らしい目標がありますね。どれも大変な職業だと思います。これから先の人生で皆さんが経験することすべてが、将来必ず皆さんの力になってくれると思います。ぜひ、がんばってください。

失敗してもくじけず、
何度も挑戦してほしい

市長 最後に私から皆さんに伝えたいことがあります。それは、自分の立てた目標を一度や二度の失敗であきらめないでほしいということです。私自身もたくさん失敗をしました。

大切なのは自分で決めたことを、あきらめずに挑戦し続けること。ときにはそれが本当に自分に合っているのかを振り返ってみることも大切ですが、それでもやっぱり「これだ」と思ったなら、あきらめないで何度でも挑戦してほしいと思います。

皆さんの今後の成功を心から祈っています。本日はありがとうございました。

(終わり)